

株式会社ツムラ

2014年度 決算説明会

(2014年4月1日～2015年3月31日)

2015年5月13日(水)

代表取締役社長

加藤 照和



2014年度決算

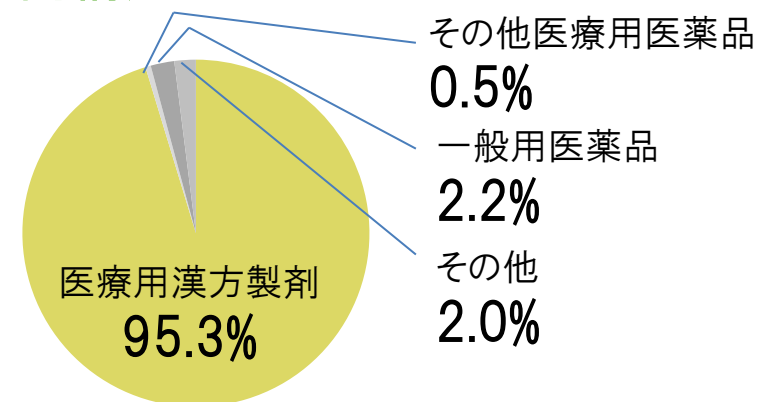
2014年度決算の概要

(百万円)

	2014年度 計画	2014年度 実績	達成率	2013年度 実績	前期比	
					金額	伸長率
売上高	111,400	110,438	99.1%	110,057	380	0.3%
営業利益	18,200	19,491	107.1%	22,461	▲2,969	▲13.2%
経常利益	18,400	21,583	117.3%	23,966	▲2,383	▲9.9%
当期純利益	11,800	14,075	119.3%	18,050	▲3,975	▲22.0%

	2014年度 計画	2014年度 実績	2013年度 実績
営業利益率	16.3%	17.6%	20.4%
EPS	167円	199円	255円
ROE	8.8%	10.1%	14.5%

売上高構成比



2014年度決算のポイント

- 国内医療用医薬品の厳しい市場環境下、売上高は計画未達となったが増収を確保
- 利益は全社的な経費抑制などにより計画超過するも、原材料調達コスト増等が響き減益

連結売上高 110,438 百万円 計画達成率 99.1% 前期比 0.3%

- 医療用漢方製剤は、昨年4月の薬価改定や消費税率改定の影響を受けながらも、前期比25億円増収(2.4%)
連結ベースでは前期比0.3% *
 - 上期に消費税率改定の影響が予想以上に発生したこと等により、計画達成率は99.1%
- * 前期の売上高には、為替変動による連結決算上の内部取引差額16.2億円計上

営業利益 19,491 百万円 計画達成率 107.1% 前期比 ▲13.2%

営業利益率 17.6% 前期比 ▲2.8pt

- 売上原価率は前期比2.7pt上昇の37.9%。主な上昇要因は、薬価改定1.1pt、原料生薬価格上昇および為替円安の影響2.0ptなど
- 販管費率は経費の削減等により、前期並みの44.4%
- 計画達成率は107.1%

経常利益 21,583 百万円 計画達成率 117.3% 前期比 ▲9.9%

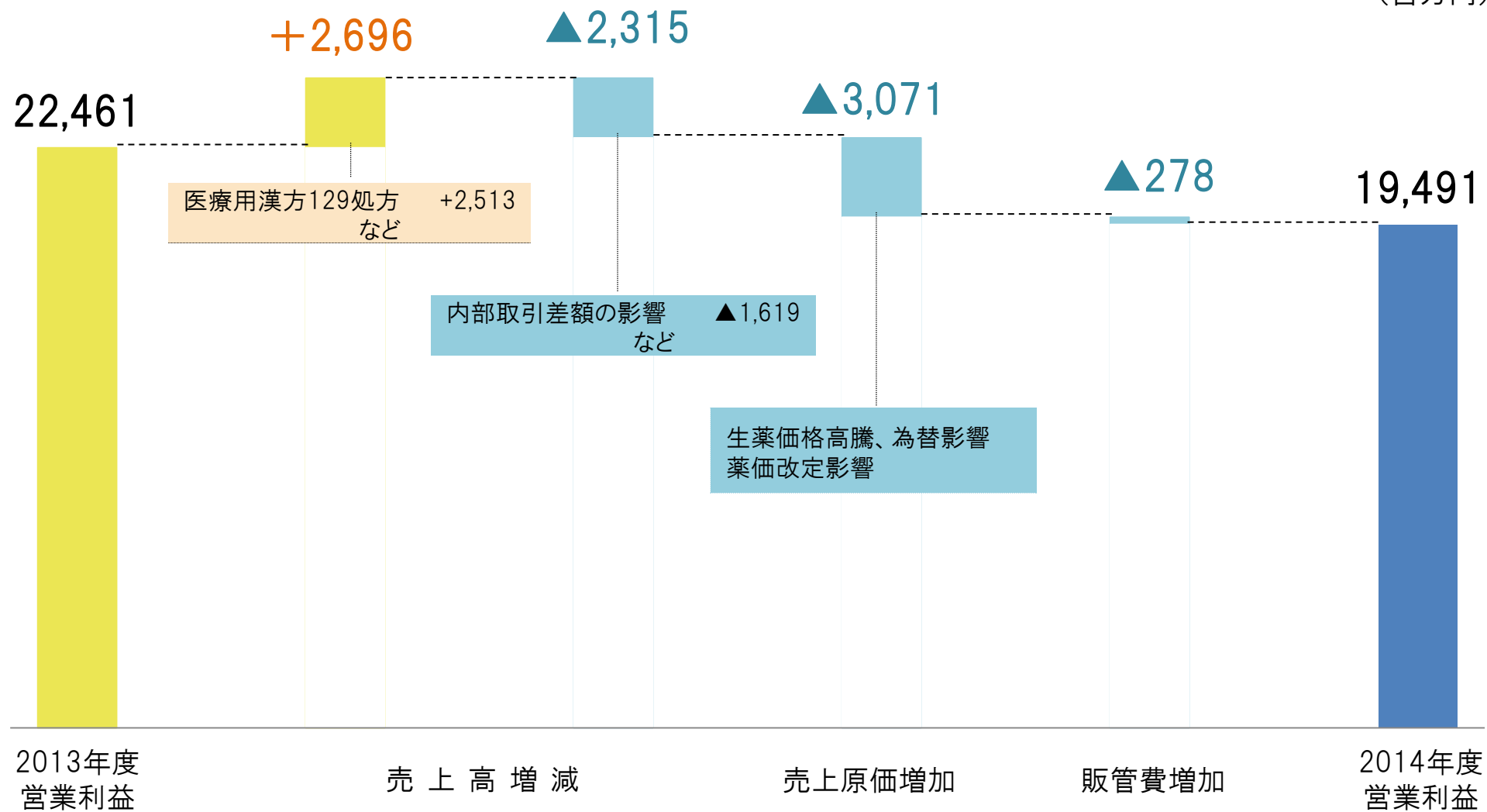
- 計画達成率は117.3%。超過要因は、円安に伴う為替差益(中国子会社への貸付金等)13.8億円の計上等による

純利益 14,075 百万円 計画達成率 119.3% 前期比 ▲22.0%

- 計画達成率は119.3%。前期比39.7億円減益(▲22.0%)の主な要因は、物流関係設備の売却に伴う減損損失9.7億円の計上、前期に投資有価証券売却益44.1億円を計上していたこと等による

営業利益の増減要因

(百万円)



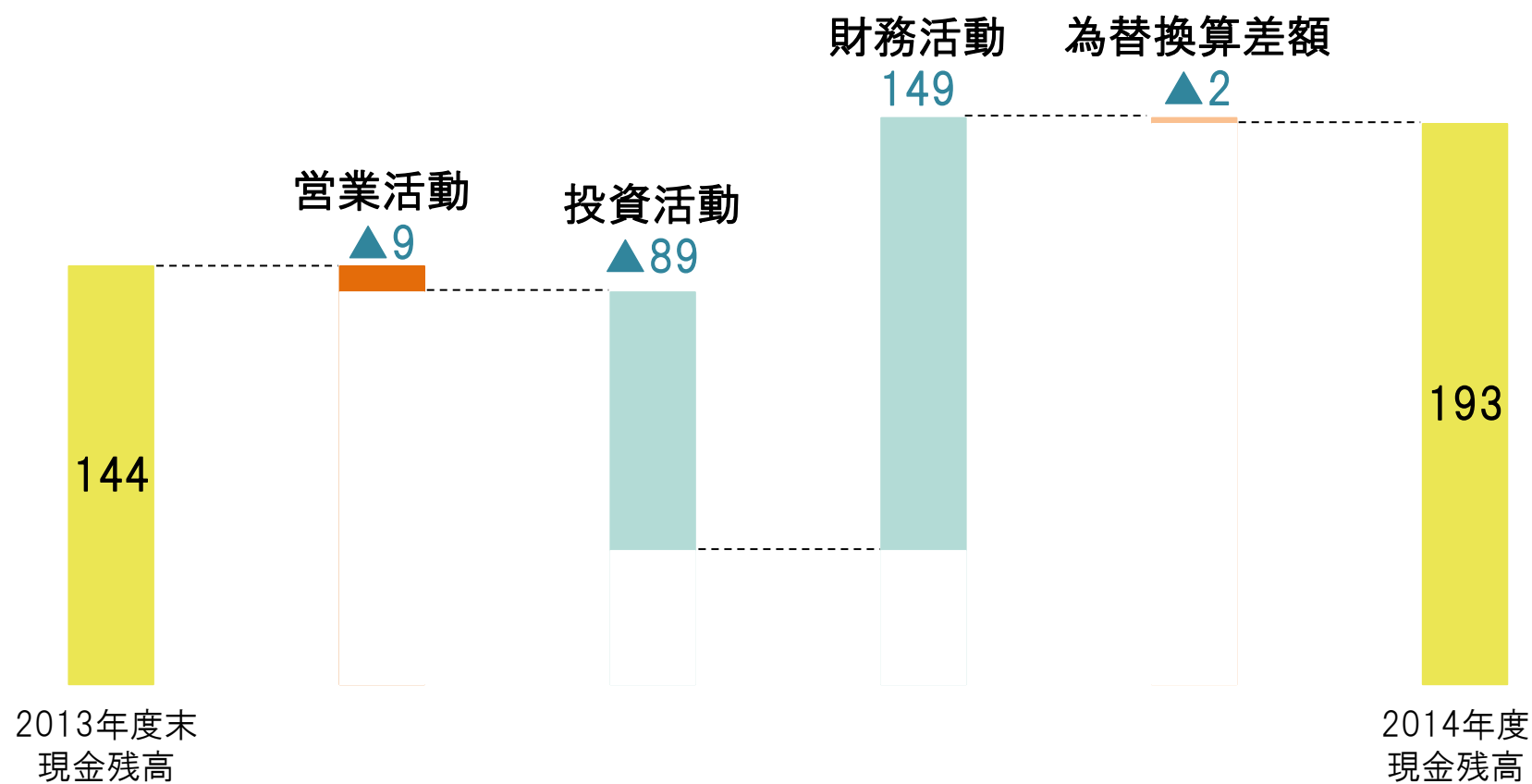
たな卸資産の増加分析


(億円)

B/S	2013年度末	2014年度末	前期比	影響要因			
				数量	生薬単価	為替	その他
たな卸資産	434	507	72	5	59	16	▲8
(商品及び製品)	88	88	0	▲9	8	0	0
(仕掛品)	105	132	27	10	19	0	▲3
(原材料及び 貯蔵品)	240	285	45	4	30	15	▲5

キャッシュ・フローの状況

(億円)





戦略課題への取り組み・進捗状況

1. 漢方市場の拡大
2. 収益力の強化
3. 財務・資本政策

2014年度医療用医薬品伸長率推移(全市場・ツムラ)

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-3月
全市場 薬価 IMS	▲2.5%	▲0.0%	1.1%	▲1.0%	▲0.6%
ツムラ 薬価 IMS	1.3%	3.9%	4.8%	2.7%	3.2%
対全市場 ポイント差	3.8%	3.9%	3.7%	3.7%	3.8%

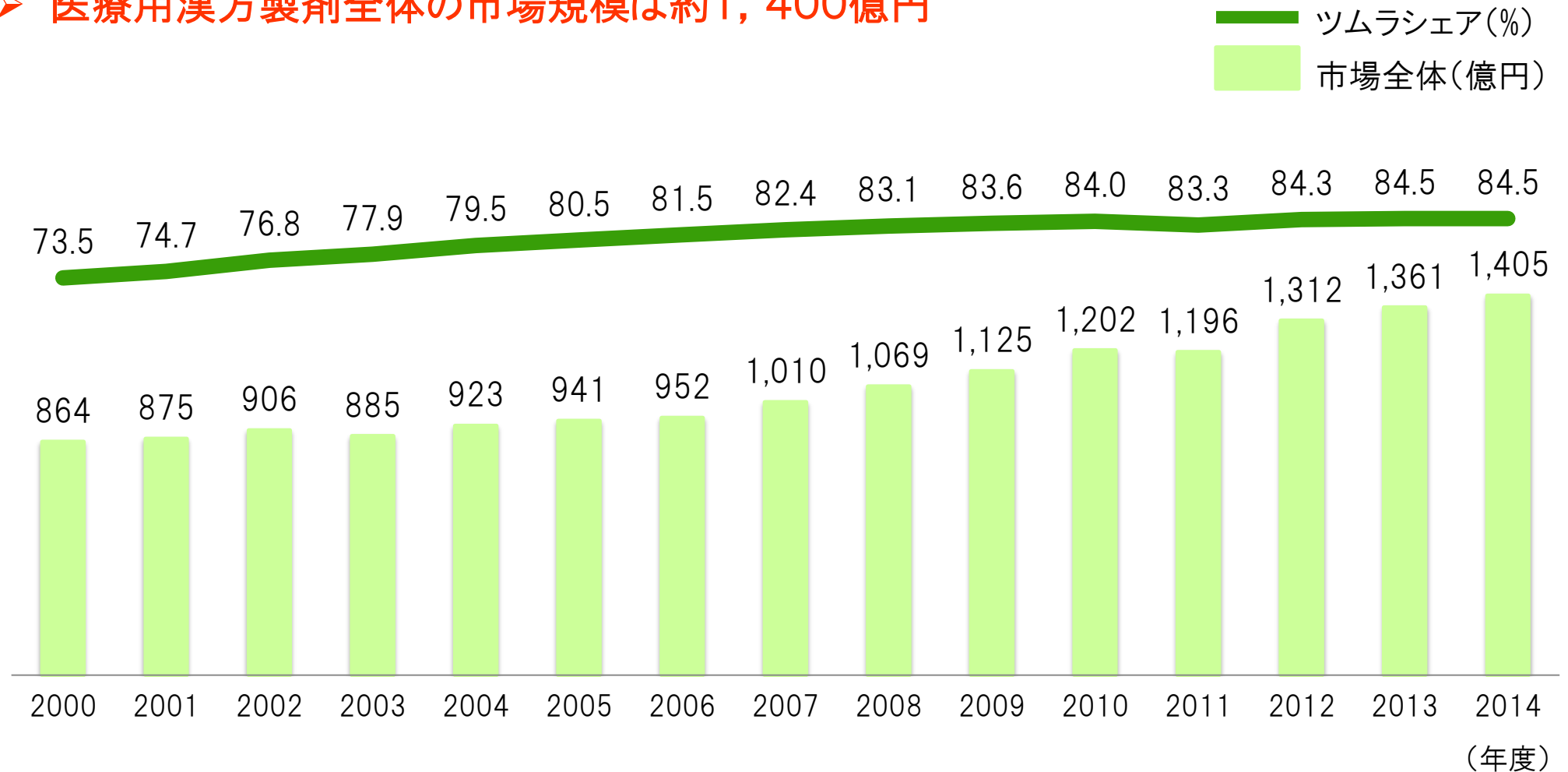
【上記データ】

Copyright 2015 IMSヘルス「IMS JPM 2013年4月-2015年3月」をもとに作成 無断転載禁止

- 2014年度の国内医薬品市場は、薬価基準改定等の医療費抑制策や消費税率の改定による前年度仮需および受診抑制等の影響を受け、全体としてはマイナス成長となった

医療用漢方製剤の市場動向

➤ 医療用漢方製剤全体の市場規模は約1,400億円



Copyright 2015 IMSヘルス「JPM2001年3月MAT ~ 2015年3月MAT」をもとに作成
無断転載禁止

医療用漢方製剤 売上高トップ10・育薬処方

(百万円)

順位	処方名	主な効能・効果	2014年度	2013年度	比較増減	
1	大建中湯	腹痛、腹部膨満感	9,993	9,785	207	2.1%
2	補中益気湯	病後の体力増強、食欲不振など	6,965	6,883	81	1.2%
3	抑肝散	神経症、不眠症など	6,895	6,628	267	4.0%
4	六君子湯	胃炎、消化不良、食欲不振など	6,633	6,612	20	0.3%
5	芍薬甘草湯	筋肉の痙攣を伴う疼痛など	4,440	4,179	261	6.2%
6	加味逍遙散	冷え症、月経不順、更年期障害など	4,285	4,264	21	0.5%
7	麦門冬湯	咳、気管支炎、気管支喘息	4,178	3,996	181	4.5%
8	牛車腎気丸	下肢痛、腰痛、しびれ、排尿困難など	3,814	3,812	2	0.1%
9	柴苓湯	急性胃腸炎、むくみなど	3,308	3,343	▲34	▲1.0%
10	葛根湯	感冒、鼻かぜ、肩こりなど	2,986	2,680	305	11.4%
21	半夏瀉心湯	醗酵性下痢、神経性胃炎、口内炎など	1,230	1,181	48	4.1%
医療用漢方製剤129処方			105,193	102,680	2,513	2.4%
育薬5処方計			28,568	28,020	547	2.0%

重点施策の進捗状況

臨床研修指定病院(含む大学病院)における漢方勉強会・全診療科説明会実施状況

1. 初期研修医向け漢方勉強会

研修医5名以上在籍施設における勉強会の開催

研修医5名以上在籍施設:約650

2014年度実績:448(約69%)

- 研修医勉強会は将来の漢方市場拡大につながる重要な活動であるため継続実施

2. 臨床研修指定病院の「全診療科」における漢方説明会

漢方129処方方の効能・効果により様々な領域へのアプローチが可能

臨床研修指定病院:約1,000
診療科:約18,000

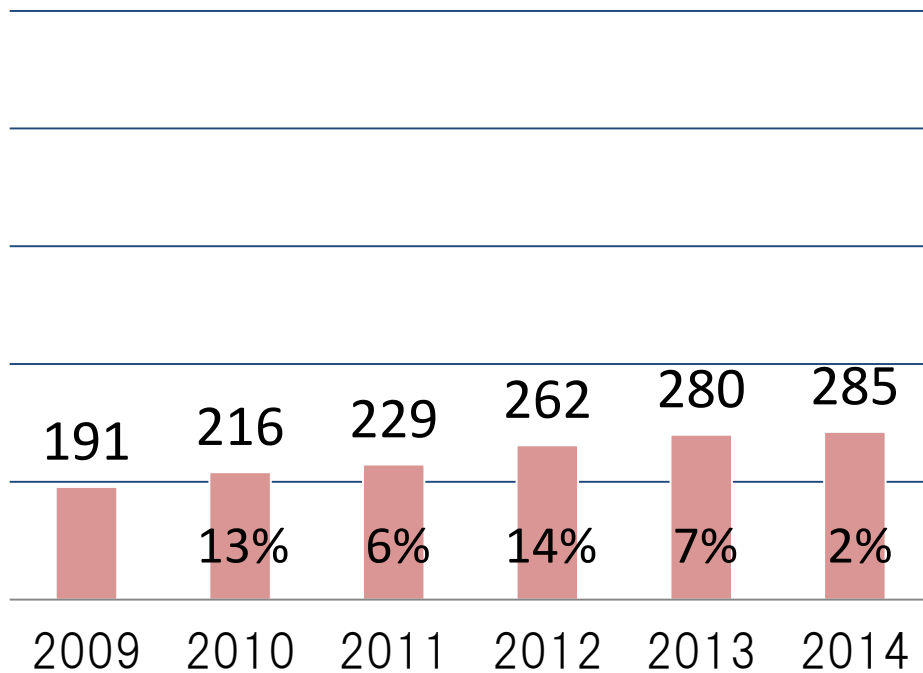
累積*実績:13,727(約78%)

*2013年4月～2015年3月の累計

- 2013年度から説明会を強化し、ニーズのある診療科・医師が確認できたこと等により、2014年度は成果の見込める先を中心に実施した
- 処方化までに時間を要している施設もある

販売分析

育薬5処方

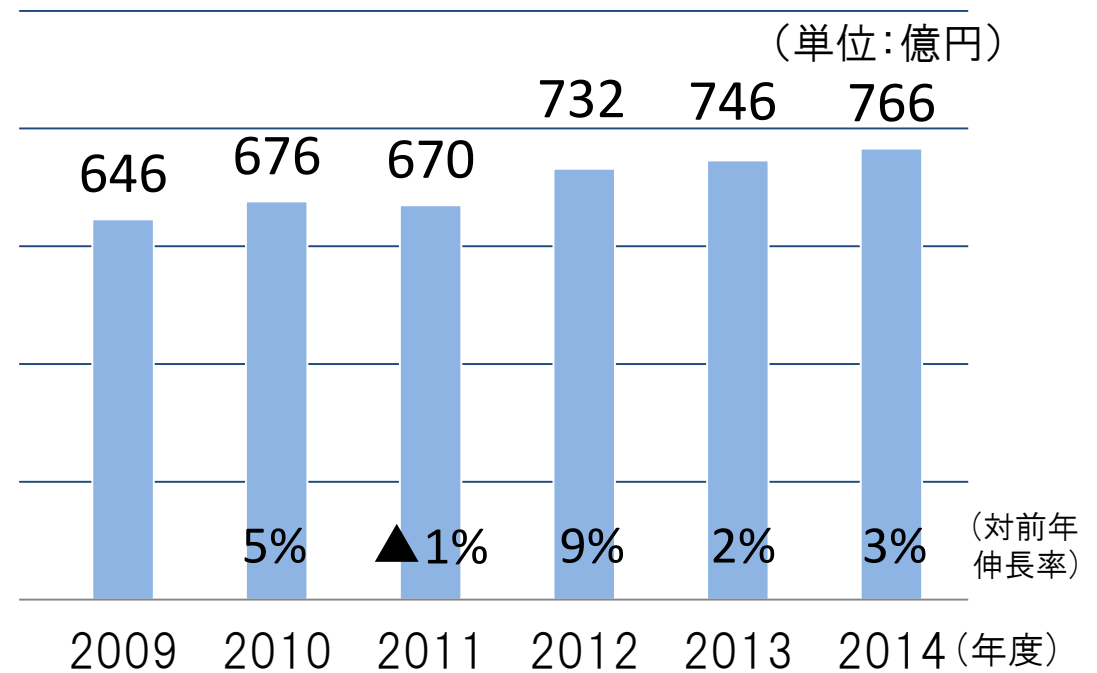


育薬処方は特に病院販路での伸長率が鈍化



大学・臨研病院の専門領域、GP専門医へのアプローチ強化など

漢方普及品目(124処方)



一部の既存得意先で売上減少がみられた



疾患・症状別アプローチの推進など

2015年度の営業強化施策

➤ 優先課題は「育薬5処方」の伸長回復と「既存先の維持・拡大」

活動対象		面談	説明会	イベント	
育薬5処方	大学臨研	消化器内科 消化器外科 精神神経科 オンコロジー	(西洋医学的アプローチ) エビデンス・ガイドライン	必須実施 定期的 継続的	学会イベント 領域別 研究会 EBM 講演会
	GP他	育薬領域専門医			
漢方普及品目	大学臨研	各診療科	疾患・症状別アプローチ	ニーズのある 先で実施	卒後漢方医学 セミナー (臨床研修指導医 セミナーの強化等)
	GP他	ハイポテンシャル施設 プライマリーケア 高齢者疾患 女性疾患			
		既存大口先			

育薬処方のエビデンス状況(DB-RCT、安全性)

論文掲載

投稿中、投稿準備中

処方名	対象疾患	代表施設	状況
大建中湯	肝臓癌術後腸管麻痺	徳島大学 他 30施設	International Journal of Clinical Oncology 掲載
	大腸癌術後消化管機能異常(本試験)	北里大学 他 64施設	Japanese Journal of Clinical Oncology 受理
	大腸癌術後消化管機能異常(付随試験)	藤田保健衛生大学 他 19施設	投稿中
	胃癌術後消化管機能異常	大分大学 他 43施設	Journal of the American College of Surgeons 受理
	膵癌術後麻痺性イレウス; JAPAN-PD Study	和歌山県立医科大学 他 10施設	論文投稿中
	肝移植後消化管機能異常; DKB-14 Study	京都大学 他 14施設	2014.8 ~ 2016.5 症例集積中
抑肝散	難治性統合失調症	島根大学 他 33施設	Psychopharmacology 掲載
	難治性統合失調症(長期試験)	島根大学 他	2014.11 ~ 2016.10 症例集積中
	BPSD	東北大学 他 21施設	投稿準備中
	自閉症スペクトラム障害(6-17歳)	島根大学 他4施設	2015.1~2016.12症例集積中
	薬物乱用による頭痛	埼玉医科大学 他4施設	2015.1~2016.12症例集積中
六君子湯	難治性胃食道逆流症; G-PRIDE Study	大阪市立大学 他 75施設	Journal of Gastroenterology 掲載 BMC Gastroenterology 掲載(追加解析)
	機能性胃腸症(FD); DREAM Study	大阪市立大学 他	2014.4 ~ 2016.3 症例集積中
	機能性胃腸症(FD); 臨床薬理試験	ルーベン大学	2014.10 ~ 2016.6 試験準備中
	肺癌化学療法に伴う食欲不振; RICH Study	福島県立医科大学	2014.11~2016.10 症例集積中
牛車腎気丸	FOLFOX 末梢神経障害; GONE Study	旭川医科大学 他 16施設	Cancer Chemotherapy and Pharmacology 掲載
	FOLFOX 末梢神経障害; GENIUS Study	九州大学 他 43施設	International Journal of Clinical Oncology オンライン掲載
半夏瀉心湯	胃癌化学療法に伴う口内炎; HANGESHA-G Study	神奈川県立がんセンター 他14施設	Cancer Chemotherapy and Pharmacology 掲載
	大腸癌化学療法に伴う口内炎; HANGESHA-C Study	大阪医療センター 他18施設	Cancer Chemotherapy and Pharmacology 受理
抑肝散	副作用発現頻度調査	-	2014年11月添付文書改訂
芍薬甘草湯	副作用発現頻度調査	-	解析中

* 芍薬甘草湯は育薬処方ではありません。

育薬処方のエビデンス状況（英語論文数）

➤ 近年、エビデンスレベルが高い漢方製剤の英語論文が増加傾向

年度 \ 処方	六君子湯	抑肝散	大建中湯	半夏瀉心湯	牛車腎気丸	合計
2008	1	9	6	1	1	18
2009	6	13	4	1	1	25
2010	8	10	6	2	2	28
2011	14	14	3	2	7	40
2012	17	19	7	5	10	58
2013	20	12	8	2	4	46
2014	13	14	7	3	5	42

疾患・症状別アプローチの推進

- ▶ 患者様の病態に対応した有効な処方提案をすること
- ▶ 漢方の使い分けを定着させること

2015年1-3月

4月

10月

風邪・上部消化管等での実践

第1弾
21疾患・症状
60処方

第2弾
追加疾患・症状
での展開

フルラインナップでの展開

- 漢方薬が効果を発揮しやすい疾患・症状別に3~5処方を選定
- 医師のニーズ(エビデンス、診療ガイドライン、漢方の使い分け)に合わせた情報・資材を整備
- 代理店による自販力の強化

TU-100 米国臨床試験進捗状況

Phase II (前期)

- ①臨床薬理試験 STEP I (健常人) **終了**
- ②臨床薬理試験 STEP II (慢性便秘患者) **終了**

【大腸癌術後腸管麻痺】

臨床薬理試験
(便秘患者)
終了

エンドポイント探索試験
(腹腔鏡下大腸切除患者)
実施中
2017年度終了予定

【過敏性腸症候群】

臨床薬理試験
(IBS患者)
終了(解析中)

エンドポイント探索試験
(IBS患者)
実施中
2016年度終了予定

【クローン病】

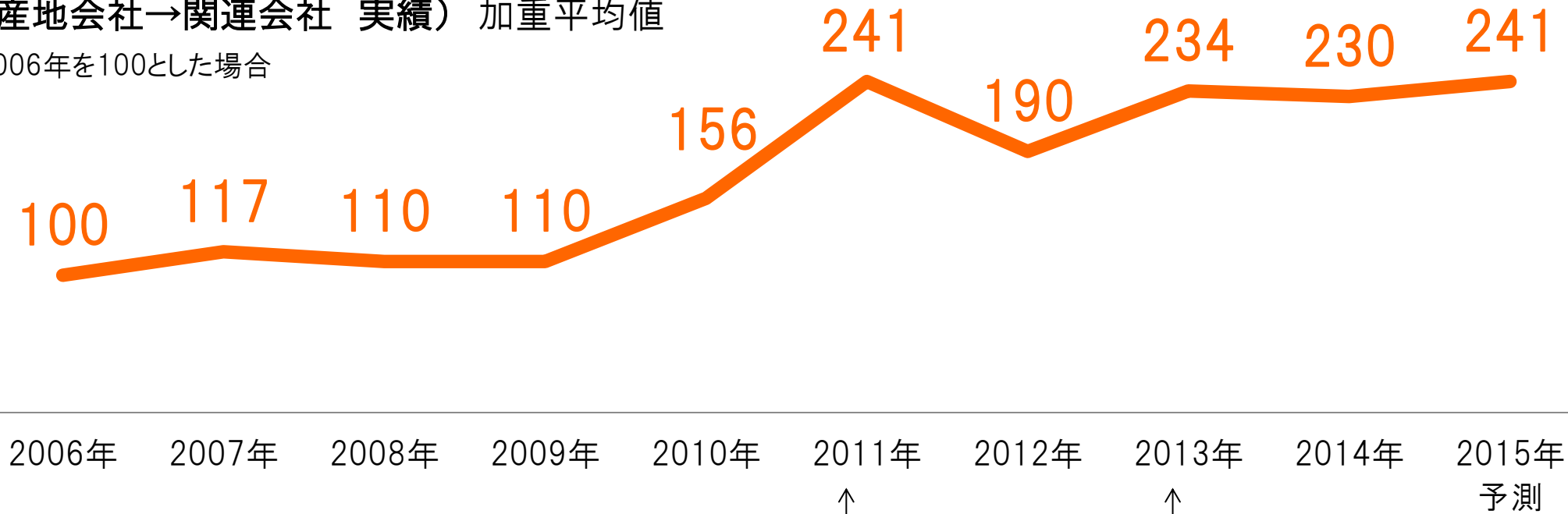
レスポンドー試験
(クローン病患者)
終了

生薬価格の推移

中国産全生薬の購入価格

(産地会社→関連会社 実績) 加重平均値

2006年を100とした場合



↑ 人参価格高騰など

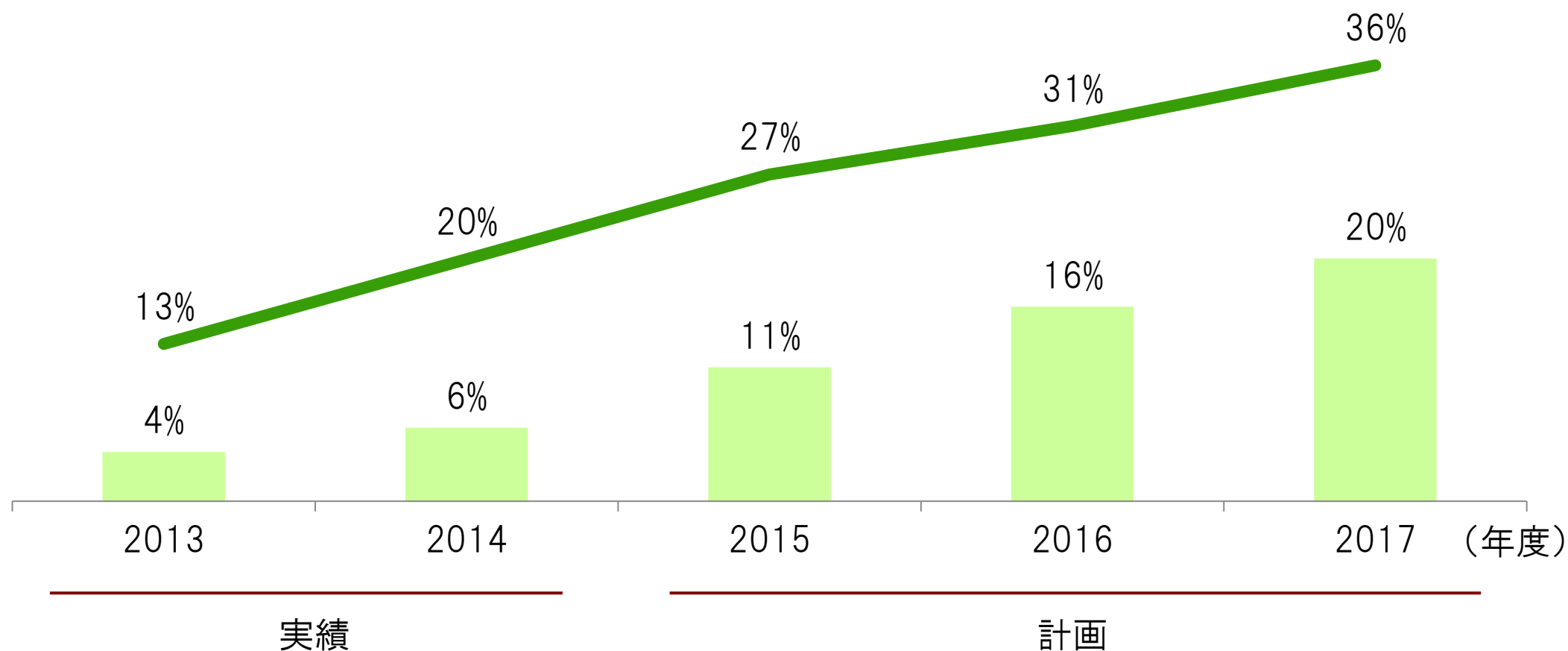
- ①中国国内での生薬需要増
- ②天候不順
- ③投機的買占め

- 人参価格は足元では若干低下傾向
- 2015年は購入構成比の変化(人参等単価の高い品目の比率拡大)により241への上昇を予測

自社管理圃場の実績・計画

- 自社管理圃場の拡大は順調に進んでいる
- 生薬仕入価格は2016年度をピークに徐々に抑制できる見通し

■ 総面積に対する自社管理圃場の面積比率
 ■ 総手配数量に対する自社管理圃場の数量比率



設備投資計画

- 販売状況と連動した段階的な設備投資
- 生産数量増加に応じて生産性の向上が見込める新規投資



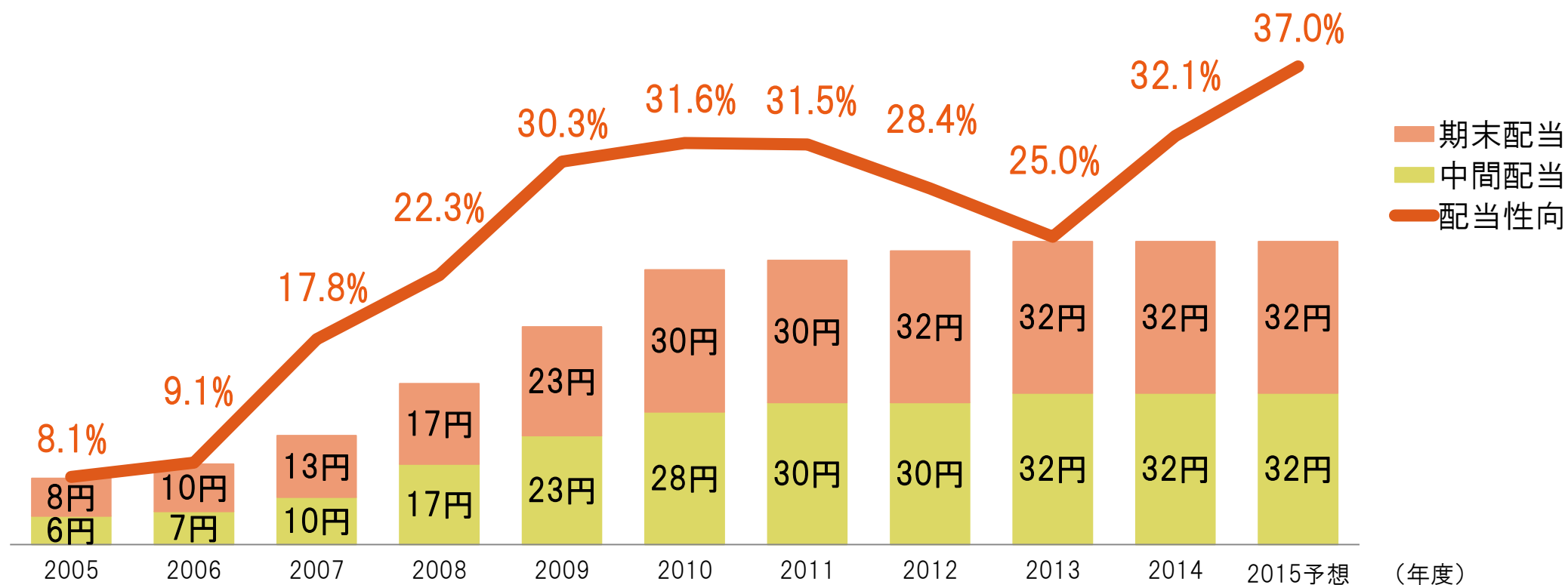
		投資案件	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度以降
生産関連	静岡工場	新造粒包装棟など				☆	☆
		新生薬倉庫		5月			
		SDライン関連					☆
	茨城工場	新造粒棟		1月			
		新規製造棟など					☆
	STP(上海)	SD棟		10月			
	生産その他	開発・維持・更新など	▶				
生薬関連	石岡	石岡センター再構築		1月			
	STM(深圳)	倉庫	3月				
	夕張	夕張ツムラ建屋				☆	
		生薬その他	▶				

設備投資額：2014年度実績 97億円(計画126億円) 2015年度計画112億円
 2014年度計画に対しての未消化は、静岡工場・新造粒包装棟の支払い時期が一部後ろ倒しになったこと、茨城工場・新規製造棟の稼働時期変更等による。
 ⇒今後も販売動向等をふまえた生産設備の稼働時期の見直しを適宜実施する
 設備資金として、2014年6月に金融機関から150億円の借入れを実施(長期借入金)

株主還元


配当方針

- 漢方が持続的に発展・成長するための事業投資を通じた企業価値向上
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施



(注)

2014年度の期末配当金および配当性向については、第79回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載



2015年度業績予想

2015年度業績予想

(百万円)

	2014年度	2015年度予想	比較増減	
売上高	110,438	113,000	2,561	2.3%
営業利益	19,491	18,000	▲1,491	▲7.7%
経常利益	21,583	18,300	▲3,283	▲15.2%
当期純利益	14,075	12,200	▲1,875	▲13.3%

営業利益率	17.6%	15.9%
配当金(1株当たり)	64円	64円
EPS	199円	173円
ROE	10.1%	8.0%

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ツムラ
コーポレート・コミュニケーション室
IR推進グループ
TEL:03-6361-7101

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。